

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、当社及びグループ各社に対して格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第99期(2013年3月期)報告書をお届けいたします。

さて、当期は、海外においては依然として不透明さが継続し、国内においても公共投資や住宅投資が十分な回復にはいたらない状況で推移していましたが、自民党新政権の発足後、為替相場の円高修正による輸出企業の業績回復や財政支出の拡大により、景気好転が期待される状況となりました。

このような中、キッツグループは、2020年度を最終年度とした長期経営計画「KITZ Global Vision 2020」の目標達成に向けて、2013年5月に第2期中期経営計画(2013年度～2015年度)を発表いたしました。グループ一同、目標達成に向け、一丸となって邁進してまいります。

株主の皆様には、引き続きキッツグループへのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2013年 6月

代表取締役社長 堀田 康之

KITZ

エミール・ガレ

《ひとよ茸文花瓶》
だけもん

制作年 1900～1904年

高さ 27.8cm

表面には地面に生えるヒトヨタケや宙に舞う楓の葉が浮彫りされ、ガラス層の間には下草や葉のモチーフが挟み込まれている。黄緑色の素地に付けられた青や白の筋状の斑紋が、流れる風や雲を想起させる。また、両脇に溶着された斑入りのガラス帯は、樹液や草むらの湿気を連想させる。器全体で森の大気を伝える詩情豊かな作品である。

北澤美術館所蔵

トップが語る成長戦略



代表取締役社長 堀田 康之

キッツグループは、2013年5月に第2期中期経営計画（2013年度～2015年度）を発表いたしました。これは2010年5月に長期経営計画「KITZ Global Vision 2020」とともに発表した第1期中期経営計画（2010年度～2012年度）が終了したことに伴って策定した、キッツグループの新たな3ヵ年経営計画です。

堀田社長に第2期中期経営計画について伺いました。

第1期中期経営計画の総括

今年3月で終了した第1期中期経営計画についてお聞きます。売上高や利益はどのような状況だったのでしょうか？

売上高や利益は、残念ながら計画未達となりました。

業績は、右に記載の通り、売上高や営業利益は、総じて計画未達で終了しました。

最終年度（2012年度）で比較すると、連結売上高は計画比で▲244億円（▲18.0%）、連結営業利益は▲34億円（▲34.4%）の大幅な未達となりました。

主力であるバルブ事業の収益が計画と乖離し、セグメント別売上高は▲196億円（▲18.9%）、セグメント別営業利益は▲34億円（▲28.4%）と、計画値に届かなかったことが大きく影響しています。

バルブ事業が計画を達成できなかった原因をどのようにお考えになりますか？

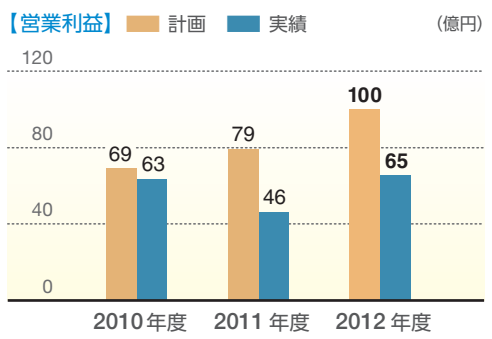
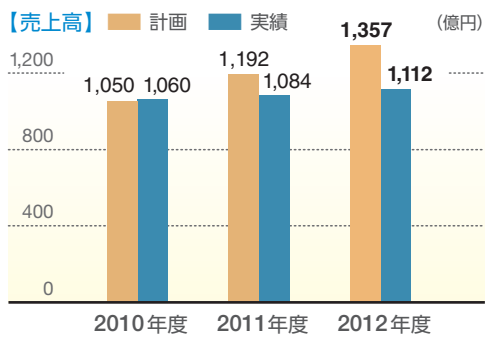
計画と実体経済との乖離、為替の影響などがあげられます。

2008年9月に発生したいわゆるリーマンショック後の景気回復を過大に見込み、計画と実体経済が大きく乖離したことでグループ丸となった計画達成への強いこだわりが足りなかったことにあとと反省しています。

また、為替相場が大きく円高に振れたことにより海外の石油・ガス市場において、世界の競合に価格で追随できず、採算の悪化や受注の低迷を招いてしまったことも影響しました。さらに、成長拡大分野への新商品の投入や海外拠点の拡充が遅れたことも一因だと思っています。

第1期中期経営計画期間の売上高と営業利益

注）グラフ及び表の計画値は2010年5月に発表した第1期中期経営計画策定時の数値



【セグメント別売上高】		（百万円）	
	2012年度計画	2012年度実績	
バルブ事業	▶ 104,100	▶ 84,472	
伸銅品事業	▶ 20,700	▶ 17,948	
その他	▶ 10,900	▶ 8,855	
合計	▶ 135,700	▶ 111,275	

【セグメント別営業利益】		（百万円）	
	2012年度計画	2012年度実績	
バルブ事業	▶ 12,300	▶ 8,808	
伸銅品事業	▶ 740	▶ 441	
その他	▶ 365	▶ 330	
調整額	▶ ▲3,405	▶ ▲3,022	
合計	▶ 10,000	▶ 6,558	

計画を達成した経営指標はありましたか？

財務体質の強化は着実に進んでいます。

財務体質の健全化を表す有利子負債は、2012年度計画を達成することができました。また、自己資本比率も向上し、財務体質の強化は着実に進んでいます。

第1期中期経営計画の目標数値（2012年度）と実績

【連結項目】	計画	実績
売上高	▶ 1,357億円	▶ 1,112億円
営業利益	▶ 100億円	▶ 65億円
営業利益率	▶ 7.4%	▶ 5.9%
当期純利益	▶ 53億円	▶ 40億円
海外売上高比率	▶ 29.0%	▶ 26.7%
有利子負債	▶ 226億円	▶ 223億円
自己資本比率	▶ 60.2%	▶ 59.3%
ROE	▶ 8.9%	▶ 7.2%

第2期中期経営計画について

第2期中期経営計画はどのような方針で進めていくのでしょうか？

第2期中期経営計画（2013年度～2015年度）の基本方針を次のように掲げています。

基本方針

成長拡大分野へグループの経営資源を効率的かつ効果的に投入し、事業体質の変革による収益性の向上を図り、グローバル企業としての地位を確立する。上記目的のため、全ての事業活動（経営・開発・生産・販売）における品質を追求する。

基本方針の中に「事業体質の変革」を掲げていますが、主な戦略を説明してください。

4つの戦略により「事業体質の変革」を実践します。

- 国内汎用バルブ事業依存の収益構造から、工業用バルブ事業の採算改善により両事業の収益力を強化する。
現在のキッツグループの主要な収益源は、国内市場に販売している建築設備向けの汎用性の高いバルブです。この商品については、引き続き安定した収益の源泉として維持していきますが、今後は、石油・ガス市場向けや工場設備向けに使われる工業用バルブの採算改善を図り、より収益に貢献できるように努めます。

- 3極2拠点の海外拠点の機能を複合化し、充実を図る。地域統括会社を通して現地での経営判断を迅速に行い、シェア拡大を目指す。

海外市場の重要な地域を3極（欧州、米州、アセアン）と2拠点（中国、インド）に区分して、それぞれの地域に、販売、マーケティング、エンジニアリング、ストック、メンテナンス、サービスといった複合機能を持たせて、現地密着型のビジネスを展開していくと考えています。

また、それぞれの地域には地域統括会社を置いて、経営判断のスピードを上げ収益拡大を目指します。

- 成長拡大分野である石油・ガス市場やプラント計装市場での戦力強化を図るため、関連商品への研究開発費や設備投資を増大させる。

キッツグループは、石油・ガス市場では、Down-Stream（石油精製・石油化学）に強みを持っておりブランド力もあります。しかし、Mid-Stream（パイプライン、原油生産、天然ガス液化、貯蔵、出荷設備）やUp-Stream（油田、井戸元）で使用されるバルブは、品種が少ないこともあり、この市場の攻略を課題としてとらえています。必要な研究開発費や設備投資を増やし、これらの市場やプラント計装市場など成長分野での収益拡大を図っていきます。

- マーケティングの強化による市場分析と、M&A（企業買収）、業務提携により事業の拡大を図る。

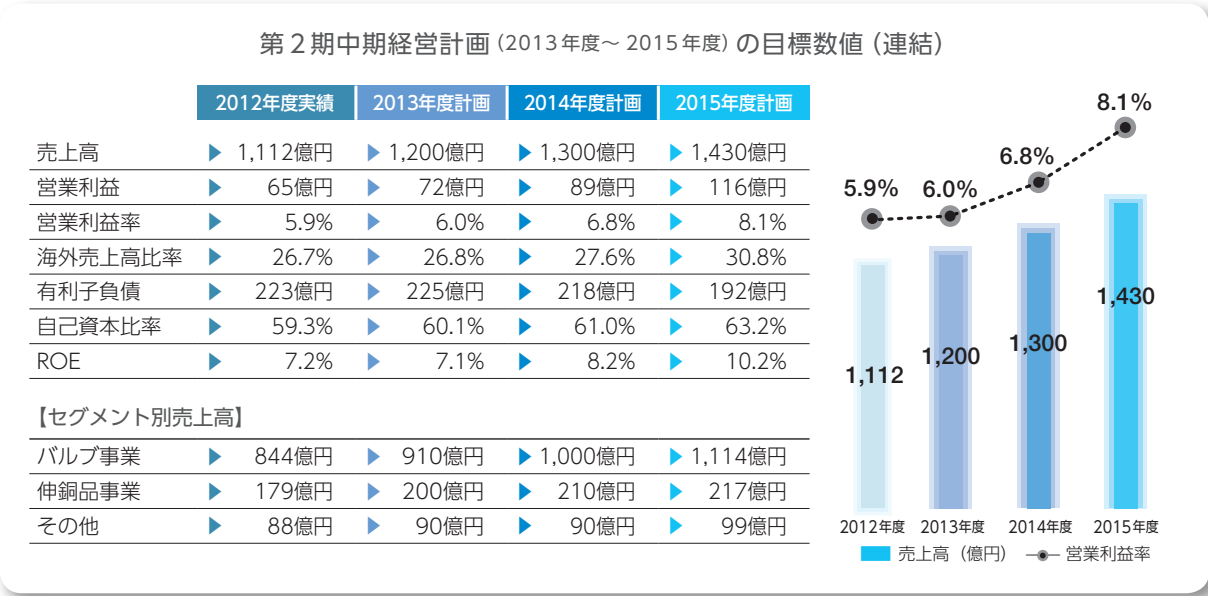
今後は、市場や競合メーカーの動向を調査・分析する力がさらに必要になってきます。市場分析をしっかりと行い、経営資源を効果的かつ効率的に使っていかなければなりません。また、M&A（企業買収）、業務提携も、収益拡大のためには重要な戦略だと考えています。

堀田社長は、2008年6月の社長就任以来、「選択と集中そして成長」をキーコンセプトに掲げています。第2期中期経営計画にはどのように反映されているのでしょうか？

生産・販売の効率化、事業の再編や統合を進めます。



国内の建築設備向け商品の生産・販売の効率化を図るため、2011年度から2012年度にかけて、キッツ、東洋バルブ、三吉バルブのグループ3社間で生産拠点及び販売拠点の統廃合を行いました。今後も、グローバルで戦うための事業の再編や拠点の統合を進めていきます。また、さらなる生産性の向上に努めるとともに最適供給体制の再構築も実施していきたいと考えています。



最後に、株主の皆様にはメッセージをお願いします。

厳しい事業環境下においても、事業体質の変革を成し遂げます。

キッツグループは、長期経営計画「KITZ Global Vision 2020」の目標達成に向け、2013年度より第2期中期経営計画をスタートしました。厳しい経営環境ではありますが、事業体質の変革を成し遂げ、「創造的かつ質の高い商品・サービスで企業価値の持続的な向上を目指し、ゆたかな社会づくりに貢献」できるよう、グループ一丸となって邁進してまいります。

株主の皆様には、引き続きキッツグループへのご理解とご支援をお願い申し上げます。

今期（2013年4月～2014年3月）の経営計画

連結売上高は前期比7.8%増の1,200億円。連結営業利益は、9.8%増の72億円。主力のバルブ事業のセグメント別売上高は7.7%増の910億円、セグメント別営業利益は5.0%増の92億50百万円。

国内市場に加え、海外市場での3極（欧州、米州、アセアン）2拠点（中国、インド）の拠点機能を複合化し販売シェ

【連結】	(百万円)	【単体】	(百万円)
売上高	120,000	売上高	68,300
営業利益	7,200	営業利益	3,500
経常利益	7,100	経常利益	4,000
当期純利益	4,300	当期純利益	2,500

アの拡大を図る。また、最適地生産体制の構築による商品供給体制の見直しと主力商品の採算性向上により、グローバル競争に勝てるコスト・品質の確立を目指す。さらに、環境対応商品の他、成長分野である石油・ガス市場向け、プラント計装市場向けの商品開発を推進する。

【セグメント別】	(百万円)	
	売上高	営業利益
バルブ事業	91,000	9,250
伸銅品事業	20,000	500
その他	9,000	350
調整額	—	△ 2,900

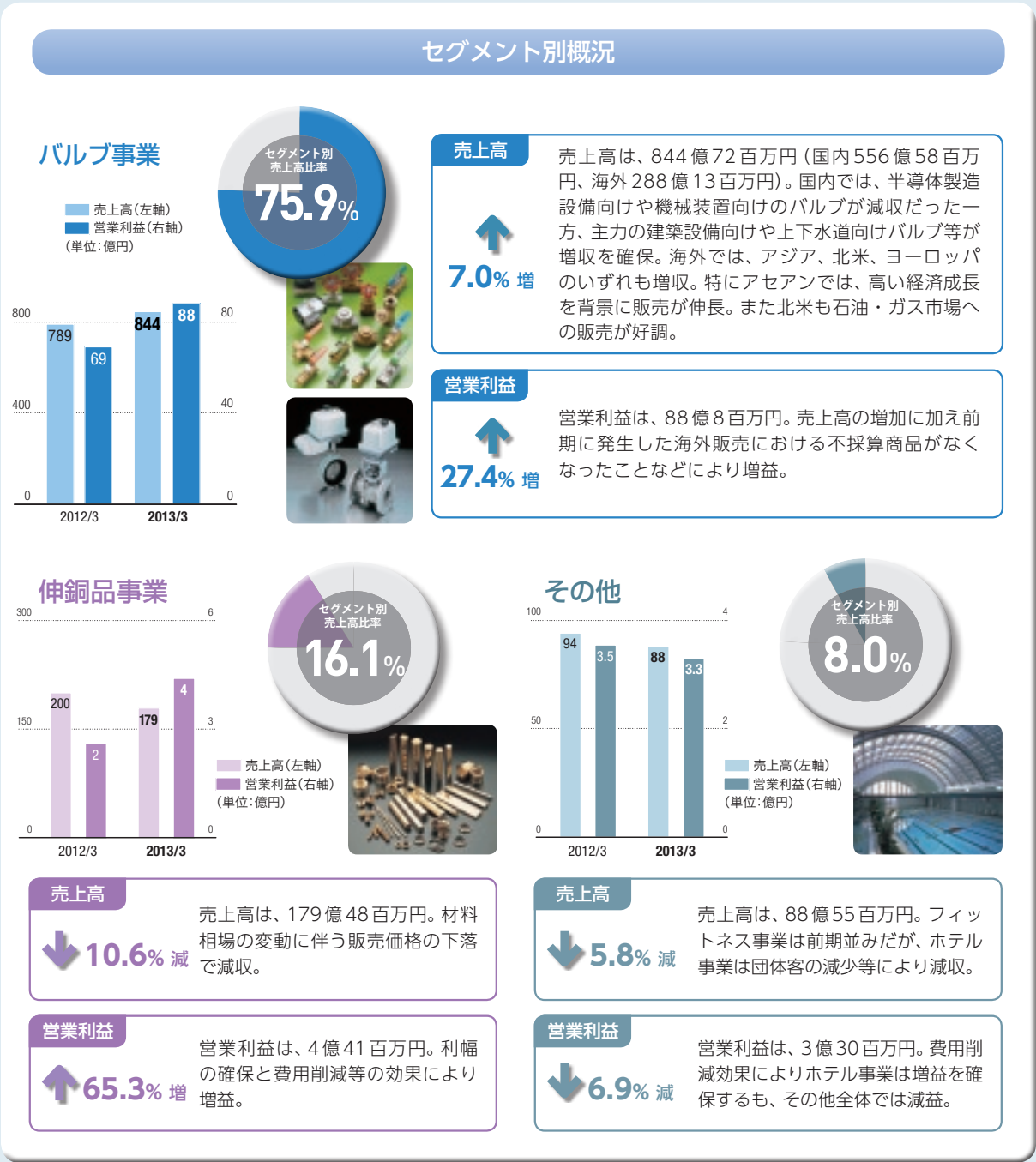
当期（2012年4月～2013年3月）の連結決算

当期は、震災復興関連需要などの公共投資の増加や住宅投資の緩やかな増加はあるものの、十分な回復にはいたらない状況で推移しましたが、2012年12月以降は、円高修正や財政支出拡大により景気好転が期待される環境となりました。

このような状況の中、連結売上高は、バルブ事業の海外販売が好調に推移したことにより、1,112億75百万円（前期比28億28百万円増、2.6%増収）となりました。また、連結営業利益は、半導体製造設備向けの不振などの減益要因はあるものの、前期に発生した海外販売における

不採算商品がなくなったことや収益性の改善に努めたことなどから、65億58百万円（前期比19億19百万円増、41.4%増益）となりました。連結経常利益は、65億21百万円（前期比21億33百万円増、48.6%増益）、連結当期純利益は40億39百万円（前期比15億59百万円増、62.8%増益）となりました。

期末配当金は、従前予想から50銭増配して、1株当たり5円といたしました（当期は中間配当金を含め、9円50銭となります）。



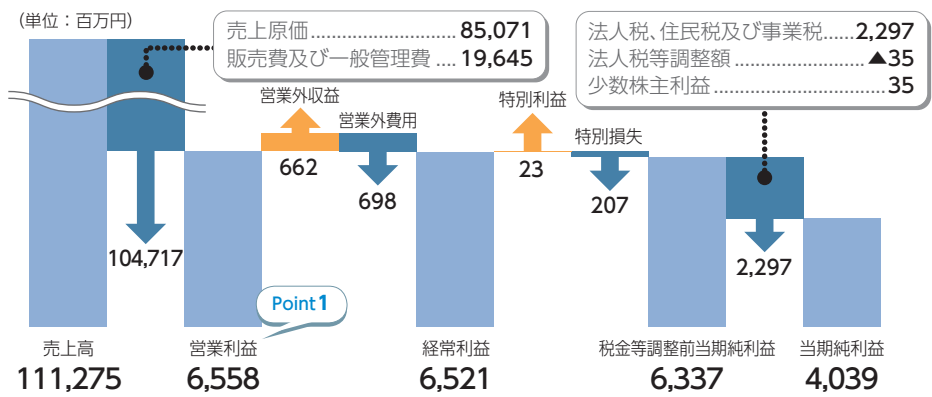
連結損益計算書の概要

Point 1・営業利益

65億円

営業利益は、海外において売上が好調に推移し、また前期に発生した海外販売における不採算商品がなくなったことに加え、収益性の改善に努めたことなどにより、前期比41.4%増の約65億円となりました。

当期 (2012年4月1日～2013年3月31日)



連結貸借対照表の概要

Point 2・資産

999億円

資産については、現金及び預金、売上債権、有形固定資産、投資有価証券などの増加により、前期末に比べ約50億円増加いたしました。

Point 3・負債

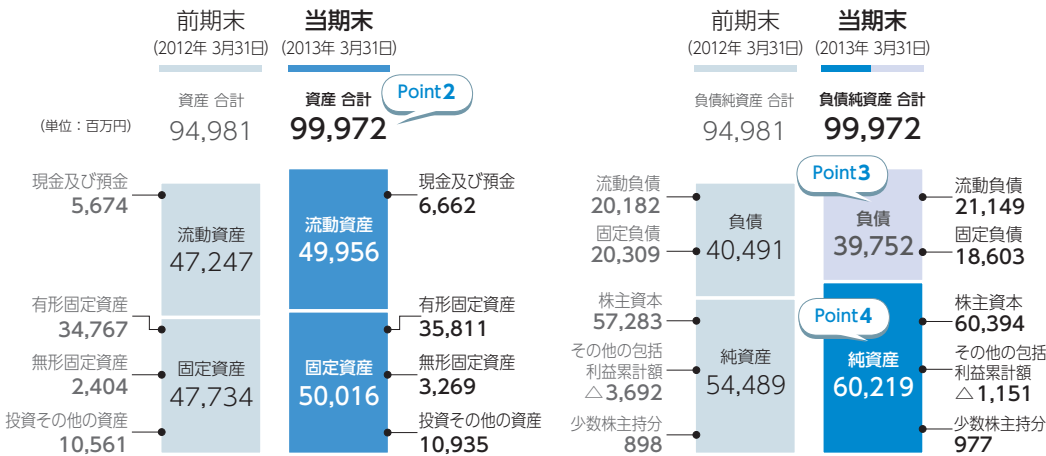
397億円

負債については、未払法人税等の増加はありましたが、有利子負債などの減少により、前期末に比べ約7億円減少いたしました。

Point 4・純資産

602億円

純資産については、配当金の支払により利益剰余金の減少はありましたが、当期純利益約40億円に加え為替換算調整勘定のマイナス額の減少やその他有価証券評価差額金の増加により、前期末に比べ約57億円増加いたしました。



地域統括機能を持つ現地法人がドイツで活動開始

2013年1月、欧州地域を統括する機能を持つ現地法人KITZ Europe GmbHがドイツで活動を開始いたしました。欧州地域は長期経営計画「KITZ Global Vision 2020」において海外重点エリアの一つとして位置付けております。

Perrin ブランドの製造販売を行う
Perrin GmbH (ドイツ)

ISO ブランドの製造販売を行う
KITZ Corporation of Europe, S.A. (スペイン)

欧州地域を統括する機能を持つ
KITZ Europe GmbH (ドイツ)

欧州の各拠点を統括し、
3 ブランドの販売戦略を強化する

KITZブランド

ISOブランド

Perrinブランド

KITZ Europe GmbHが、欧州各拠点のオペレーションを統括することにより、意思決定の迅速化が図られ、キッツグループの力をより強化することが可能になります。また、販売面においては、KITZ、ISO、Perrinの各ブランドの特性を生かした販売戦略により、収益の拡大を図ってまいります。

シンガポール総代理店 Mikuni Engineering (Singapore) Pte. Ltd. を傘下に

シンガポールに拠点を置くグループ会社 KITZ Corporation of Asia Pacific Pte. Ltd.は、2013年3月、シンガポール総代理店であるMikuni Engineering (Singapore) Pte. Ltd. (以下、Mikuni) を子会社いたしました。

Mikuniは、工業用バルブの販売及び手動バルブの自動化等の改造、メンテナンスを手掛ける会社です。1981年の創業当初よりキッツのシンガポール総代理店として、アセアン地域のハブである石油精製・石油化学市場が集積するジュロン島(シンガポール)をメインに、キッツグループの工業用バルブを販売してまいりました。

Mikuniがキッツグループの一員となることにより、ビルや水道設備などに使われる汎用バルブの販売が中心であったアセアン地域において、石油精製・石油化学向け工業用バルブの新しいビジネス展開が可

能となります。特に、石油プラントへの投資が急拡大しているシンガポールにおいては、工業用バルブの販売体制を再構築し、現地法人としての強みを生かした直接的なアプローチで今まで以上にきめ細やかなサービスをお届けいたします。またバルブの改造やメンテナンスなどの機能も充実させ、アセアン地域のお客様のニーズに即応できる体制を確立してまいります。なおMikuniは、今後「KITZ Valve & Actuation Singapore Pte. Ltd.」に会社名を変更する予定です。



調印式の様子

キッツグループの

Environmental (環境)、Social (社会貢献)、Governance (企業統治) への取り組みをご紹介します。

Environmental ・ 環境

長期経営計画「KITZ Global Vision 2020」において、環境経営の推進を経営基盤強化の主要項目として位置付けております。環境中期計画では、国内外15の全ての製造拠点でISO14001の認証を取得することを目標に設定しており、2012年度は1拠点が新たに認証を取得いたしました。

なお、国内においては7つの全ての製造拠点が2006年度までに取得を完了しており、また海外での認証取得実績は6拠点となりました。引き続き、グローバルな環境マネジメントの確立に向け、計画的な認証取得に取り組んでまいります。

●ISO14001 認証取得状況 (海外)

- 2000.11
台湾北澤股份有限公司
- 2010.12
KITZ (Thailand) Ltd. Bangplee工場
北澤精密機械 (昆山) 有限公司
- 2011.4
北澤閥門 (昆山) 有限公司
- 2012.2
KITZ (Thailand) Ltd. Amatanakorn工場
- 2012.5
KITZ Corporation of Europe, S.A.

Social ・ 社会貢献



収集した古本

社会貢献活動に対する意識を全社的に高めるため、社会貢献活動推進月間を設けております。2012年度は2013年2月の1ヵ月間を対象期間とし、以前から行っている社会貢献活動に加え、新たに古本のリユースを活用した活動を行いました。これは、収集した古本等を古本買い取り会社が査定し、買い取り相当額を特定非営利活動法人 (NPO法人) 等に寄付するものです。

キッツの国内事業所及び国内グループ各社にて古本やDVD等を収集し、その買い取り額全額を森林再生活動に取り組んでいるNPO法人 森のライフスタイル研究所に寄付いたしました。



キッツはNPO法人 森のライフスタイル研究所の森林再生活動に参加しています

Governance ・ 企業統治

社会から信頼と共感を得られる企業であり続けるため、コーポレート・ガバナンス機能を整備しております。キッツは、経営を監視・監督する体制を強化するため、取締役のうち2名を社外取締役とし、取締役の職務執行の相互監視を徹底することにより、健全で適正な経営を行っております。さらに、取締役の職務執行の監視・監督を強化するため、監査役のうち半数を社外監査役としております。また、経営の意思決定を迅速に行うため執行役員制度を導入、取締役が経営戦略を立案し、取締役の監視・監督のもと、執行役員が業務を執行するという役割分担としております。

また、社長を委員長とするC&C (クライシス及びコンプライアンスの略称) 管理委員会を設置し、経営リスクへの対応、コンプライアンス経営の推進及び内部通報等に係る諸問題を解決する体制を整えております。

会社概要

○ 商号	株式会社キッツ	○ 従業員数 (単体)	1,210人 (2013年3月31日現在)
○ 本社	〒261-8577 千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目10番1 TEL (043) 299-0111	○ 生産拠点 (単体)	長坂工場 (山梨県) / 伊那工場 (長野県) / 茅野工場 (長野県)
○ 代表取締役社長	堀田 康之	○ 販売拠点 (単体)	札幌 / 仙台 / さいたま / 千葉 / 横浜 / 茅野 / 新潟 / 富山 / 静岡 / 名古屋 / 大阪 / 岡山 / 広島 / 福岡
○ 資本金	21,207,084,670円		
○ 設立年月日	1951年1月26日		

グローバル ネットワーク



海外生産拠点

- A KITZ (Thailand) Ltd. / タイ (サムットプラカーン)
- B 台湾北澤股份有限公司 / 台湾 (高雄市)
- C 北澤精密機械 (昆山) 有限公司 / 中国 (江蘇省)
北澤閥門 (昆山) 有限公司 / 中国 (江蘇省)
北澤半導体閥門 (昆山) 有限公司 / 中国 (江蘇省)
連雲港北澤精密閥門有限公司 / 中国 (江蘇省)
- D KITZ Corporation of Europe, S.A. / スペイン (パルセロナ)
- E Perrin GmbH / ドイツ (ヘッセン州)

国内グループ会社

- 東京 ● 東洋バルブ株式会社
- 株式会社キッツエスシーティ
- 千葉 ● 三吉バルブ株式会社
- ワイケイブイ株式会社
- 株式会社キッツエンジニアリングサービス
- 株式会社キッツウェルネス
- 滋賀 ● 株式会社清水合金製作所
- 長野 ● 株式会社キッツマイクロフィルター
- 株式会社キッツメタルワークス
- 株式会社ホテル紅や

海外販売拠点

- F 上海開滋国際貿易有限公司 / 中国 (上海市)
- G KITZ Corporation of Asia Pacific Pte. Ltd. / シンガポール
Mikuni Engineering (Singapore) Pte. Ltd. / シンガポール
- H KITZ Corporation (India Liaison Office) / インド (ムンバイ市)
- I KITZ Corporation (Dubai Branch) / U.A.E. (ドバイ酋長国)
- J KITZ Corporation of America / アメリカ (テキサス州)
- K KITZ SCT America Corporation / アメリカ (カリフォルニア州)
- L KITZ Europe GmbH / ドイツ (ヘッセン州)

株式の状況

○ 発行可能株式総数 400,000,000株

○ 発行済株式の総数 109,221,188株

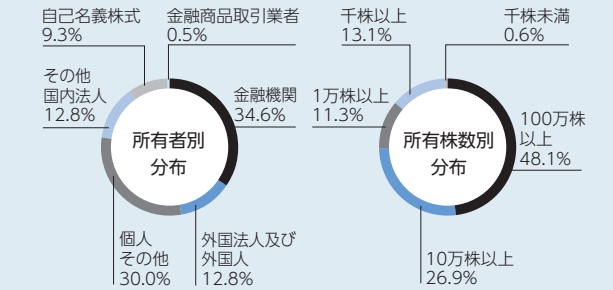
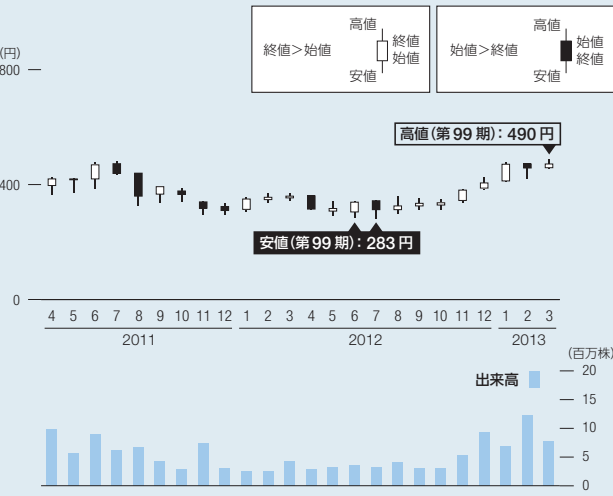
(注) 上記の株式の総数には、当社が2013年3月31日現在に保有する自己株式11,175,323株を含んでおりません。

○ 株主数 10,627名
○ 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	11,902	10.90
日本生命保険相互会社	4,789	4.39
北沢会持株会	3,433	3.14
ザチエスマンハッタンバンクエヌエイロンドン エスエルオムニパスアカウント	3,416	3.13
公益財団法人北澤育英会	3,411	3.12
住友生命保険相互会社	3,273	3.00
キッツ取引先持株会	3,075	2.82
資産管理サービス信託銀行株式会社	3,021	2.77
株式会社みずほコーポレート銀行	2,553	2.34
株式会社三井住友銀行	2,553	2.34

- (注) 1. 当社は、2013年3月31日現在、自己株式11,175千株を保有しており、上記大株主から除外しております。
2. 上記の持株数には、信託業務に係る株式を次の通り含んでおります。
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) 11,902千株
資産管理サービス信託銀行(株) 3,021千株
3. 日本生命保険(相)の持株数には、特別勘定年金口8千株を含んでおります。
4. 住友生命保険(相)の持株数には、変額口88千株及び特別勘定口424千株を含んでおります。
5. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式11,175,323株を除いて計算しております。

○ 株価チャート



株主の皆様へのお知らせ

期末配当金のお支払について

2013年5月31日開催の当社取締役会におきまして、第99期の期末配当金について、以下の通り決議されております。

期末配当金：1株につき 金5円

(中間配当金として2012年12月に1株につき4.5円の配当を実施しておりますので、年間の配当金は1株につき9.5円となります)
効力発生日ならびに支払開始日：2013年6月12日(水)

同封の「第99期期末配当金領収書」により、払渡しの期間(2013年6月12日～7月16日)内に最寄りのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りください。また、銀行等口座振込をご指定の方には、「第99期期末配当金計算書」及び「配当金振込先のご確認について」の記載をご確認いただけますよう、お願い申し上げます。

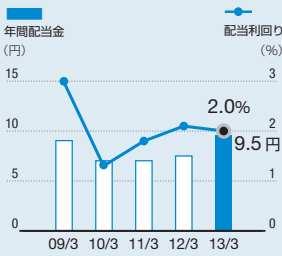
株主の皆様のご意見が経営に反映されます

株主総会で提案された議案について、株主の皆様賛成や反対の意思表示をしていただくことを「議決権の行使」といいます。株主の皆様には100株につき1個の議決権をご所有いただいております、ご所有の株主様がこの権利を行使することは、当社の経営に参画していただくこととなります。議決権を行使いただく方法は、以下の通りです。

- ① 株主総会にご出席いただき、提案された議案に対する賛否を表明していただきます。
※株主総会については、同封の「第99回定時株主総会招集ご通知」をご参照ください。
- ② 株主総会にご出席いただくことができない場合は、同封の「議決権行使書」にて提案された議案に対する賛否を表明していただきます。

株主の皆様への配当方針

キッツは、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題として認識しております。継続性、安定性に留意した配当を実施しており、当面の配当性向は連結当期純利益の25%前後を望ましい水準と考えていますが、将来的には利益配分の目標として自己株式の取得も含めて、連結当期純利益の3分の1前後を目指してまいります。



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。
公告掲載方法	電子公告 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載 URL(http://www.kitz.co.jp/)
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

株主優待のご案内

キッツでは年2回、以下の優待を実施しております。

○ 3月末現在の株主様

① 1,000株以上ご所有の株主様：キッツグループ会社優待冊子
ホテル紅や宿泊割引券、フィットネスクラブ施設体験・各種割引券、高性能浄水器・各種交換カートリッジの割引販売、北澤美術館招待券(4枚)

② 2,000株以上ご所有の株主様：①+オリジナルクオカード

(保有株数)	(優待内容)
2,000株以上	1,000円券1枚
3,000株以上	2,000円券1枚
4,000株以上	3,000円券1枚
※6月下旬の発送	

クオカードは、コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、ファミリーレストランなど、全国約48,000の加盟店で利用可能な、現在、最も汎用性の高いプリペイドカードです。

○ 9月末現在で1,000株以上ご所有の株主様
北澤美術館カレンダー
※12月上旬の発送



北澤美術館

キッツは「北澤美術館」の活動を支援することを通して、学術・芸術の振興と文化の向上に貢献しております。北澤美術館では、19世紀末フランスのアール・ヌーヴォー期の世界第一級のガラス工芸品と現代日本画を中心に優れた作品を常時展示しており、国内外を問わず高い評価をいただいております。本年開館30周年の節目を迎え、展示室のリニューアルを実施いたしました。これまでの約2倍となった展示スペースで、多くの皆様のご来館をお待ちしております。